



「碁石」…地元では何の変てつもない地名。「これが資源にならないか？」碁石地区の被災者が首都圏のNPOに呼びかけて、2014年に「第一回碁石海岸で囲碁まつり」を開催しました。80余人の囲碁ファンはあちこちの「碁石」看板に歓声を挙げ、翌年「囲碁のまち請願署名」に10926筆(市内5777筆)が集まりました。2016年「碁石の日(5月14日)」制定、囲碁神社設立、大震災で最大の支援をいただいた台湾との交流囲碁大会。2017年「全国・台湾盲学校囲碁大会」は、おはよう日本、NHKワールドで全国、世界に放送されました。2018年2月棋聖戦、5月「全国・台湾・韓国盲学校囲碁大会」。11月に三回目の台湾訪問を行い、台南市政府、台日友好交流協会、台中私立恵明盲校、台北市立啓明学校などと心温まる交流をしました。



碁石のような丸石(碁石浜)



2014年7月、初めての100面打ち



2016年、台北市立啓明学校全員に囲碁指導



囲碁列車で日台盲学校交流(2016.5)



全国・台湾盲学校囲碁大会開会式



前夜祭で、エイエイGO!



大船渡保育園児歓迎



戸田市長 熊谷議長 齊藤会頭

ちびっ子先生小鳥ちゃん



↑子ども大使・中村公盛君と郭貞慧さん(台南市台日友好交流協会理事長)、柿島光晴さん。→台南市教育局長の陳修平さんと(2018.11)



台中市私立恵明盲校を初訪問し、柿島さんが視覚障害者用基盤アイゴを寄贈しました(2018.11)



台北市立啓明学校(盲学校)に三回目の訪問(中央が蔡明蒼校長)

第五回囲碁まつり(2018年5月)に音楽科生徒が出演し深い感動を与えました。個性と能力を伸ばす台湾の教育は素晴らしいと思いました。

- 囲碁はカンタン! 10分で覚えられます…王銘琬九段の「純碁革命～囲碁入門」
- 子どもの「脳力」を伸ばします…東大など40大学が囲碁を正課に採用しました
- 認知症の予防・改善効果…東京都健康長寿医療センターの飯塚あい氏が実証
- 囲碁は高齢社会を楽しく生きる切札…お金がかからず、友達ができて、楽しい
- 高次脳機能障害の改善に効果があります…柴本礼さんの衝撃体験をご覧ください
- 「囲碁列車」でローカル線の活性化…移動+友達ができ、楽しく、認知症予防>
- 囲碁は人を楽しくつなぎます…家族づくり、クラスづくり、職場づくり、まちづくり…
- 最高の国際交流…文字も言葉も必要なく、世界共通ルールで6千万人の愛好者
- 囲碁は「共に生きる社会」の基盤です…老若男女、障害・難病があっても大丈夫



明日に向かって一歩ずつ

2020年 世界碁縁芸術祭～囲碁まつり&2020本竹明かりコンサート
2021年 大震災10年・碁縁大同窓会/ギネスに挑戦1万人囲碁大会